

【PRESS RELEASE】

動画「マヌルネコのうた official MV」が大きな反響を呼んでいます

4月15日に那須どうぶつ王国 YouTube チャンネルで配信した動画「マヌルネコのうた Official MV」が配信5日後に再生数8万回越え、公式 Twitter 1.7万いいね、1万リツイート越えの快挙!!

4月23日の「国際マヌルネコの日」※に向けさらに盛り上げていきます。

動画「マヌルネコのうた official MV」は当園のマヌルネコ2頭を撮影・制作したミュージックビデオです。希少動物の保全も歌詞に織り込みながらマヌルネコの持つ個性を引き出した新しい映像となっております。国内外の広告賞、数多くの話題作を手掛け、2020年には世界最大級の映像コンテストで日本一にもなったクリエイティブ・ディレクター 富永 省吾氏※を起用して動物の生き生きとした躍動感、距離感の近さ等、那須どうぶつ王国でしか撮れない映像素材を使ったデジタルコンテンツ「マヌルネコのうた」を制作し発表しました。小田朋美氏※が作曲/歌唱、歌詞は富永氏自ら書き下ろしており、とてもクセになるシュールな仕上がりになっています。

那須どうぶつ王国公式 YouTube チャンネルの動画再生数は、**80,000回**を越え、公式 Twitter のいいね数、**17,000** いいね、**10,000** リツイートを突破しました。(2021年4月20日現在)、再生数・リツイート数共に日をおう毎に伸びており、「中毒性がある」「クオリティ高すぎ」など、SNS で大きな話題となっています。より多くの皆様に野生ネコ「マヌルネコ」を知っていただき当園が取り組む野生動物や環境保護・保全・啓発活動に興味を持って頂けると嬉しいです。

那須どうぶつ王国公式 YouTube チャンネル (チャンネル登録者数 約37500人 2021年4月現在)

<https://www.youtube.com/channel/UCp6QcfkxVaT77OVMXKKTJoQ>

動画 URL はコチラ→ <https://youtu.be/5YLSP6b6yHg>

公式 Twitter 公式 Twitter <https://twitter.com/nakprstaff>



*マヌルネコの撮影には照明は一切使用していません。

またマヌルネコにストレスをかけない様に距離を保ち静かに撮影を行いました。

① オス (名前ボル)*手前
生年月日 2014年4月18日
体長 約50センチ
体重 約4.3キロ

② メス (名前ポリー)*奥
生年月日 2015年5月15日
体長 約50センチ
体重 約4.4キロ



※富永省吾 <https://shogotominaga.com/>
クリエイティブ・ディレクター/映像作家

1991年生まれ。2013年、クリエイティブディレクターとして日本最年少で CANNES LIONS Health 銅賞受賞。その後、TOKYO MIDTOWN AWARD をはじめ国内外の広告賞、数多くの話題作を手掛ける。ブランディング/プロモーション/コンテンツを総合的な視点で捉えた「チャンネルのデザイン」を得意とする。ブレーン「いま一緒に仕事をしたい U35 クリエイター」選出。フランス・カンヌで主催される世界最大のクリエイティブコンテスト、ヤングライオンズコンペティション(通称ヤングカンヌ)の映像部門で日本一となり、2021年の世界大会日本代表に内定している。

◎デジタルコンテンツ「マヌルネコのうた」は観光庁による「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業により制作しております。

【画像 左 富永省吾氏 右 小田朋美氏】

※小田朋美

小田朋美 | オダトモミ <https://www.odatomomi.com/>
作曲家、ヴォーカリスト、ピアニスト



ソロ活動をはじめとし、「DC/PRG」(キーボード)、「CRCK/LCKS」(ヴォーカル&キーボード)、詩と音楽のコラボレーション集団「VOICE SPACE」(作曲)、アイリッシュ・ダンス専門のバンド

「Toyota Ceili Band」(ピアノ)に在籍。他にも、「cero」ライブサポート(キーボード&コーラス)や、ASA-CHANG&巡礼との共演、日本各地で行われる津軽三味線の名手・高橋竹山の演奏会ピアニスト。2016年よりCM やドラマ等の映像音楽制作を開始し、作曲・ヴォーカル・ピアノの三本柱で活動中。

【マヌルネコについて】

マヌルとはモンゴル語で「小さなヤマネコ」という意味で、ネコ科の動物では最も古い種です。その個性的な風貌や動きから現在、人気沸騰の野生のネコです。またワシントン条約附属書Ⅱに記載される将来絶滅の危険性が高い野生希少動物です。

那須どうぶつ王国では現在アジアの森に2頭のマヌルネコ(♂ボル・♀ポリー)が展示されています。2019年にはボルとポリーの間に赤ちゃんが誕生し、2頭が生育しました。その特徴はイエネコを含め小型のネコとは違いがあります。目の位置が高く耳は極端に頭の横に離れて付いています。さらにおでこは平で耳のラインは水平でつながって見えます。まるでお坊さんの様な風貌です。

これは乾燥した樹木の無い高地の岩場や平坦で乾燥した草原に生息するため隠れる場所が少なく目だけを出して獲物に気づかれない工夫です。狩りの仕方は忍び寄り型、独特のカクカクした動きや尻尾を振り獲物を射止めるなどユニークな技に釘付けになります。厳しい環境で生き抜くために、まるでせんべいの様に地面に平らに腹ばいになって天敵のワシやオオカミから身を隠します。そんな個性的な魅力を持つマヌルネコですが、近年は地球温暖化等人間の経済活動による生息環境の悪化によりワシントン条約附属書Ⅱに記載される希少種です。またマヌルネコは他のネコ科の動物とは異なり、瞳孔が明るいところでも縦長にならず丸のまま収縮します。その生息環境は夏は40℃近くあがり、冬には氷点下50℃にも達する想像を絶する過酷な世界です。その生き抜く力には驚嘆に値します。

分類:食肉目 ネコ科

学名:Otocolobus manual 英名:Pallas' s Cat

体長:50~65cm

食性:主にげっ歯目などの小動物

分布:シベリア南部から中央アジアの砂漠地帯・樹木のない高地の岩石地

保全:IUCN(国際自然保護連合)レッドリスト LC(低危険種)

※CITES(ワシントン条約)附属書Ⅱ

※2021年4月現在



*4月23日の「国際マヌルネコの日」(International Pallas' s cat day)

2019年にPICA(Pallas' s cat international conservation alliance)「国際マヌルネコ保全協会」が制定。日本では那須どうぶつ王国、埼玉県こども動物自然公園がサポーターとして登録されている。マヌルネコを知る日、生息環境や生態等日本のマヌルネコを展示する動物園7園でもオンラインイベントを開催、普及啓発活動を行っている。

那須どうぶつ王国 広報担当

電話 0287-77-1110

宮地 さくら 携帯 090-8870-3508 miyachi@nasu-oukoku.com

鈴木 和也 携帯 090-4757-1625 suzuki@nasu-oukoku.com